

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 30-005

PDCA	事務事業名	企画展開催事業（博物館本館）	部課等名	教育部 博物館	担当	秋山	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第5章 育ち合い共生を進めるまち 節：第2節 生涯学習の推進 基本施策：3. 文化の継承と創造 単位施策：（2）文化の振興 個別施策：②博物館の活用					
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則					
	対象・目的	企画展等で貴重な資料や文化活動を紹介することで、来館者の生涯学習の推進を図るとともに、郷土文化への愛着を深め、地域文化の向上に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	他館から貴重な資料を借用し展示する企画展、及び当館の収蔵資料を一つのテーマに沿って展示する館蔵品展等を開催する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①企画展の開催回数	6	6	6	回	
		②企画展の開催日数	191	189	173	日	
		事業費	1,945	1,982	1,763	千円	
		人件費	13,261	9,624	8,898	千円	
		総事業費	15,206	11,606	10,661	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①開催期間内入館者数1人当たりのコスト	233	216	207	円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①企画展開催期間内入館者数	実績値	65,131	53,836	51,450	人
			目標値	55,000	55,000	55,000	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性	効率性		
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	B 企画展「塩のはなし」や「あいちの伝統野菜」をはじめ、「第34回知多工芸展」「柴山清風展」等を開催し、地域の自然や歴史、芸術などを多くの市民に紹介することができた。 また、展示に関連した博物館講座を行うことで、より理解が深まるよう工夫した。今後も魅力的な展示内容に加え、様々な関連イベントで来館を促す工夫を行っていく必要がある。 なお、入館者については、新型コロナウイルス感染症の影響により3月4日から臨時休館となったため、目標値を下回る結果となった。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 地域博物館の特性と学芸員の専門性を活かし、資料を通じて地域の自然や歴史、民俗、芸術等について学ぶ機会を提供する。 また、展示の内容を充実させるとともに、講演会や博物館講座などの関連イベントを充実させることで来館者の興味関心を高め、生涯学習の推進と来館者の増加を図る。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①企画展開催期間内入館者数	55,000	人			